

令和7年度 山梨県サービス管理責任者・児童発達管理責任者養成研修

「相談支援（障害児者支援）の目的」

障がい当事者会 みのあか 清水仁美
障がい当事者会 みのあか 中村安孝



社会福祉法人 忠恕会
相談室ちゅうじょ・山梨クリナーズ酒折 秋山潤

科目のねらい

- ・ 基本的人権の尊重のための支援の意味と価値を理解する。
- ・ 利用者理解、利用者の自己選択・自己決定の重要性について理解する。
- ・ 障がい児者の地域での生活実情について理解する。
- ・ 障がい者権利条約の趣旨を踏まえつつ、相談施支援の基本的価値観を理解する。

学習のポイント

- ・ 障がい者の地域生活とその支援
- ・ 障がい者の自立と尊厳の確保、社会参加
- ・ 自己決定（意思決定）への支援・権利擁護（エンパワメント/リカバリー）
- ・ 障がいのある人を含めて誰もが暮らすことのできる地域づくり

障害者の権利に関する条約（障害者権利条約）

障がい者の権利を実現するために人権や基本的自由を守るための約束。

「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」

Nothing About Us Without Us !

- ・ 2007年条約に署名

条約の内容に賛成している→障害者制度の改革

2011年（平成23年） 障害者基本法改正・障害者虐待防止法

2012年（平成24年） 障害者総合支援法

2013年（平成25年） 障害者差別解消法・障害者雇用促進法改

などの様々な取り組みを行う

- ・ 2014年1月12日条約に批准

（締結とはこの条約を国として守りますと約束）

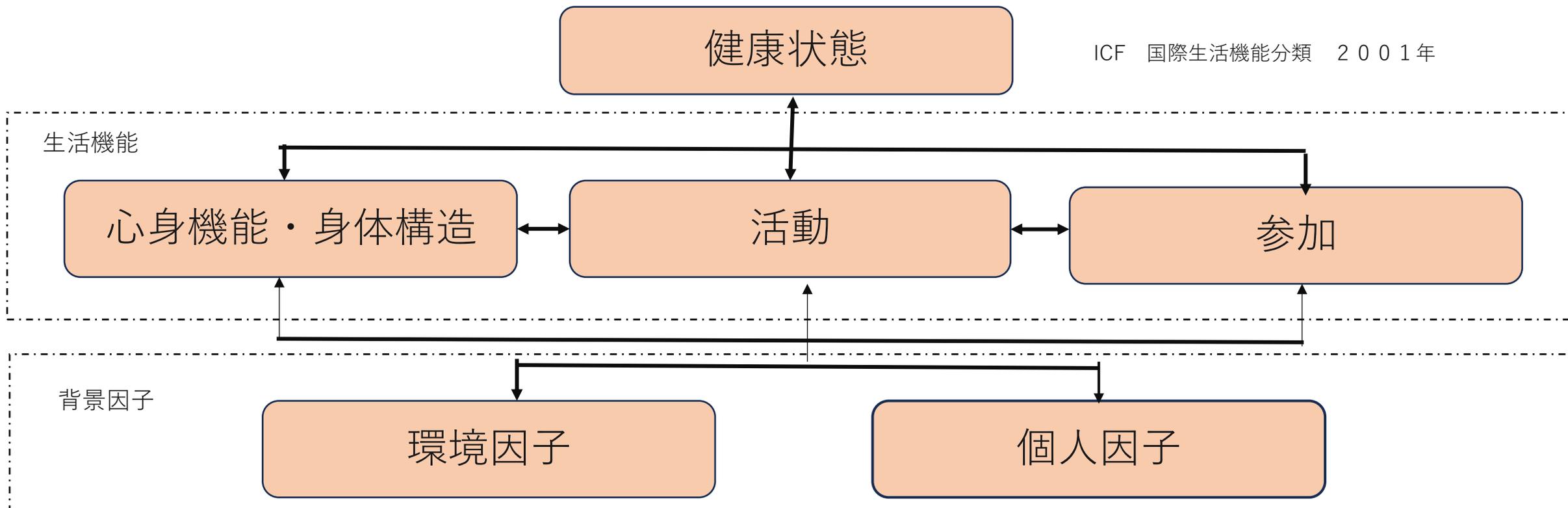
- ・ 2022年8月審査 → 「障害のある子供にインクルーシブ教育を」 など

障害者の権利に関する条約

第1条 目的 この条約は、全ての障害者によるあらゆる人権及び基本的自由の完全かつ平等な享有を促進し、・・・長期的な身体的、精神的、知的又は感覚的な機能障害であって、様々な障壁と相互作用により他の者と平等を基礎として社会に完全かつ効果的に参加する事を妨げ得るものを有するものを含む」

「社会モデル」という考え方を強調したものになっている。

「社会モデル」とは、「障害」とは障害者自身のことではなく、環境など様々な要因から社会が作り出しているもの



ケアマネジメントに基盤をおいた理念とその展開

実践する上で大切な姿勢

- ①個別性の重視
- ②サービス利用者のニーズが中心になる考え（利用者中心）
- ③生活者として障害者をとらえる考え（QOLの重視）
- ④意思決定を中心に据えた考え
- ④利用者自身が問題解決能力を付けていく考え（エンパワメント）
- ⑤利用者の権利擁護（アドボカシー）

相談支援における自立支援の理念

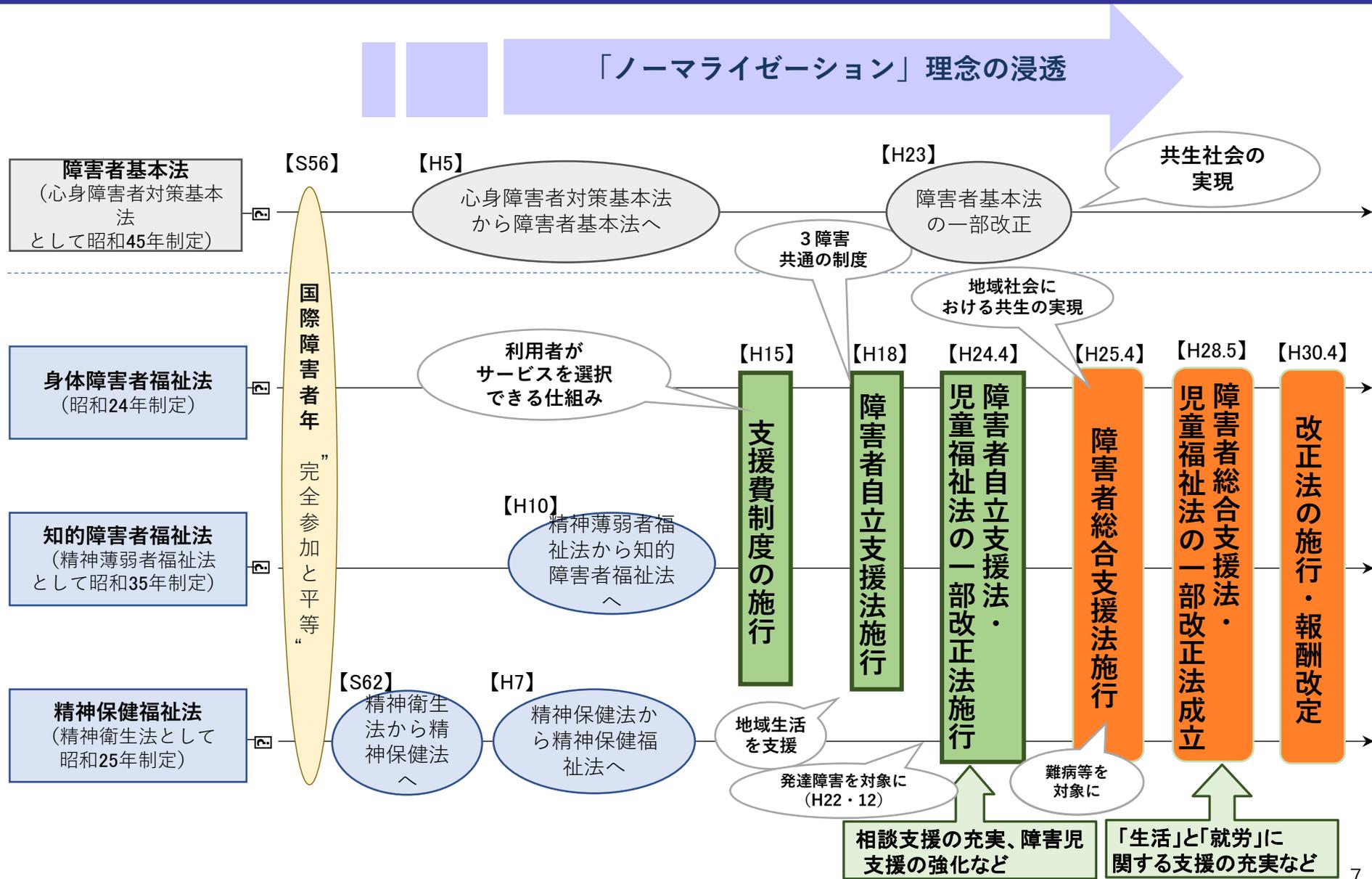
- ・ 自己選択、自己決定
- ・ エンパワメント

障害者の意思決定と選択権が最大限に尊重されていることを自立としてとらえると、自立生活とは、障害者の意思決定に基づいた生活の主體的な営みとして考えることができる。そして、その主體的な営みを生活のさまざまな側面に応じて支援していくことを自立生活支援といえることができる。

・ 自立生活プログラム

体験的エンパワメントとも言われ、どの部分を頼み、どの部分を自分で行うか自己選択を行っていく。その中で有効として活用されるのが、「ピア」による活動である。ピアカウンセリングは当事者同士、同じ経験を持ちながら共感し、問題解決に向けての力を獲得する大きなサポートとなっている。

障害保健福祉施策の歴史



(厚生労働省資料)

障害者への相談支援事業の経緯

平成2年～8年 身体・知的・精神各相談支援関連事業開始

- ◆ 身体障害者：市町村障害者生活支援事業（平成8年）
- ◆ 知的障害者：障害児（者）地域療育等拠点施設事業（平成2年）
→障害児（者）地域療育等支援事業（平成8年）
- ◆ 精神障害者：精神障害者地域生活支援事業（平成8年）

平成15年 障害者支援費支給制度開始

- ◆ 措置から契約へ
- ### 相談支援事業一般財源化
- ◆ 国の補助事業から市町村事業へ

平成18年 障害者自立支援法施行

- ◆ 障害者相談支援事業開始（相談支援事業が法律に明記）
 - 相談支援専門員の創設
 - サービス利用計画作成費の創設

平成24年 障害者自立支援法改正

- ◆ 相談支援体系の見直し
 - 特定相談支援
 - 一般相談支援
 - 障害児相談支援 の創設

支援を活用しての自立

重度障がいを持っていてもできる事

清水仁美

私の障害

- 脳性麻痺（アテトーゼ型）
- 四肢麻痺
- 言語障害
- 普段の生活にはほとんど支援が必要

障がい当事者会みのあか について

障がい当事者会みのあかは、障がい者の社会参加、余暇活動等、集いの場の提供、障がい者の権利擁護を目的とし、県内にピア・カウンセリングの普及、自立生活センターの設立を目標に活動しています。

「みのあか」は、ハワイ語で笑顔という意味です。メンバーそれぞれ、出来ることを分担しながらそれぞれの生き甲斐を持って活動をしています。今は、コロナウイルスの影響でなかなか思うように活動できていません。少しずつ再開していけたらと思っています。

ピア・カウンセリングとは

障がい者のためのものというイメージをお持ちの方も多いと思います。確かに障がいを持った人たちが気持ちを分かち合い、心の傷を癒し、次のステップに進むための一つの手段ではあります。

ピアの意味、仲間は性別・年齢・出身・職業・同じ遭遇をしたものなどの意味も含みます。みなさんにとっても、普段の生活に応用していただけるお話です。

ピア・カウンセリングで大事なことは、傾聴することです。普段なかなか人の話をしっかり聴く、人に話を聴いてもらうということは、様々な理由で難しいと思います。質問や意見・アドバイスをせずただ話を聴く、話を聴いてもらう。

お互いに同じ時間を分け合いながら、あなたの気持ちに着目してみませんか？体験して何を感じるでしょうか。

なぜ自立を考えたか・・・

親が年を取ってくる中で兄弟達にもそれぞれの道がある。私自身がその妨げにはなりたくないと考えていました。障がいがあるからといって、いつまでも親に頼ることをしていいとは思っていませんでしたので、元氣なうちに親を安心させたいという気持ちが強かったからです。

自立生活支援センターを地元である山梨で創りたい、だからこそ山梨で実現させたいという気持ちで5、6年掛かりましたが、何とか走り抜くことができました。

実現するにあたって大変だったこと

私のような障がいで24時間体制での支援を行った前例が山梨では無く、その必要性を市の職員の方達に分かっていただくことが難しく、基幹相談支援センターりんくや市の福祉課の方々と長い時間を掛け相談してきました。

私は、元々セルフプランで計画を立ててきたのですが、客観性に欠けるという指摘があり計画相談に切り替えました。このように様々な方達の力を借り、実現でき、その結果生き甲斐のある生活が送れています。支えていただき感謝しています。

自立した想い

何もかも家族頼りな生活から自分主体の生活へとかわり、少しだけ親孝行できているかな？と感じています。

色々なヘルパーさんとの関わりの中で築いてきた関係が続けていくことの大変さ、してもらいたい事を正確に伝える難しさ、慣れた人が離れていく寂しさ、打ち解けられた喜びを痛感しています。自分がやりたいタイミングで行きたい場所へ行くこと、やりたいことができることでより自分らしさを見つけることができました。

経験することの大切さ

小さなころから兄弟達とほぼ変わらない生活をし、高校までは養護学校に通っていたものの、居住地校交流や、通っていた養護学校の近くの学校との交流、子ども国会や全国高等学校芸術文化祭への参加で同年代の仲間とたくさん関わったことで精神的成長ができました。

そして、同年代の仲間たちから、やる気と頑張る力をいっぱいもらいながら、負けたくないというライバル心を育てる事もできました。多くの経験をさせてくれた家族や先生に感謝しています。

自律の大切さ

辞書によると

自立は→自分以外のものの助けなしで、または支配を受けずに、自分の力で物事をやっていく事。

自律は→自分の気まますを抑え、または自分で立てた規範に従って、自分の事は自分でやっていく事。

と、言われていますが、障がい者にとっては自律の考え方を重視してほしいと感じています。何故なら人の手を借りている以上、障がい者には自立は難しいという事になってしまうからです。

たくさんの人々の力を借りてでも自ら「やりたい」を実現していければ、どんどん可能性が広がっていくと思います。

生活に楽しみを

音楽活動やお菓子作り・小物作り・生活介護でのレクリエーションやボッチャ…

楽しいと思える時間は生活に潤いを与えてくれます。これがあるからがんばれる、多少不安になっても乗り越えていけるから、小さな楽しみをたくさん見つけていくこと、笑い合える時間をいっぱい見つける事が元気を保つために大切だと痛感しました。

カラオケ・ウインドウショッピング・遠出（ディズニー・東京散策・ライブ・泊まりの旅行）などやりたいことはつきません。少しずつ外出も増え、より自分らしく楽しい時間が増えています。これからも色々なことにチャレンジし、自分の活動範囲を広げていきたいです。

地域で暮らす中で困ったこと

- 移動支援が少なく、外出支援に制限がかかってしまう→徒歩で動ける範囲を広げたり、公共交通機関の利用を検討している
- 感染症発症時に支援がストップしてしまうこと
- 近所付き合いがあまりなく、繋がりが無い
- プライバシー保護により他の当事者がどういう生活をしているかの情報が入りづらい

こんなことが嬉しかった☆

- ・話すことに共感してくれて、私の気持ちを引き出そうとしてくれた。
- ・余暇活動の際、一緒になって楽しんでくれた。
- ・出来ることを一緒に考えてくれ、チャレンジさせてくれた。
- ・時には厳しいこともあるけれど・・・私自身を成長させてくれた。
- ・しっかり向き合おうとしてくれた。

もしも、あなたがされたら・・・

- ・本人に聞かないで家族や関わっているヘルパーさんだけに最近の様子などを聞く。
- ・年相応な関わりをしてもらえない。
- ・「やりたい・こうしたい・こうしてほしい」を否定されたり、受け止めてもらえない。
- ・事業所の都合で予定やヘルパーさんの変更をされた。
- ・相談したことを真摯に受け取ってもらえない。

サービス管理責任者に望むこと . . .

- ・ 親しみやすい関わり方
- ・ 些細な困り事も相談できる
- ・ 一人一人を理解し施設内では一番の理解者
- ・ 連絡はこまめに(ヘルパーさんの変更など)
- ・ ヘルパーさんや職員さんとの架け橋になってほしい
- ・ 利用者本意で考えてほしい(ヘルパーさんも職員さんもお家族の目もみんな大事ですが)

サービス管理責任者に望むこと・・・

私たちにとってサービス管理責任者はなくてはならない存在であるのは間違いありません。

一緒に考えて一緒に悩んで、一緒に楽しんで一緒に喜び合える関係でいてほしいです。

障がいあるなし関係なく、一人の人として関わってほしいと思います。

プロフィール

名前 中村安孝

年齢 40代 障害 脳性まひ

所属 障がい当事者会みのあか

趣味 スポーツ観戦

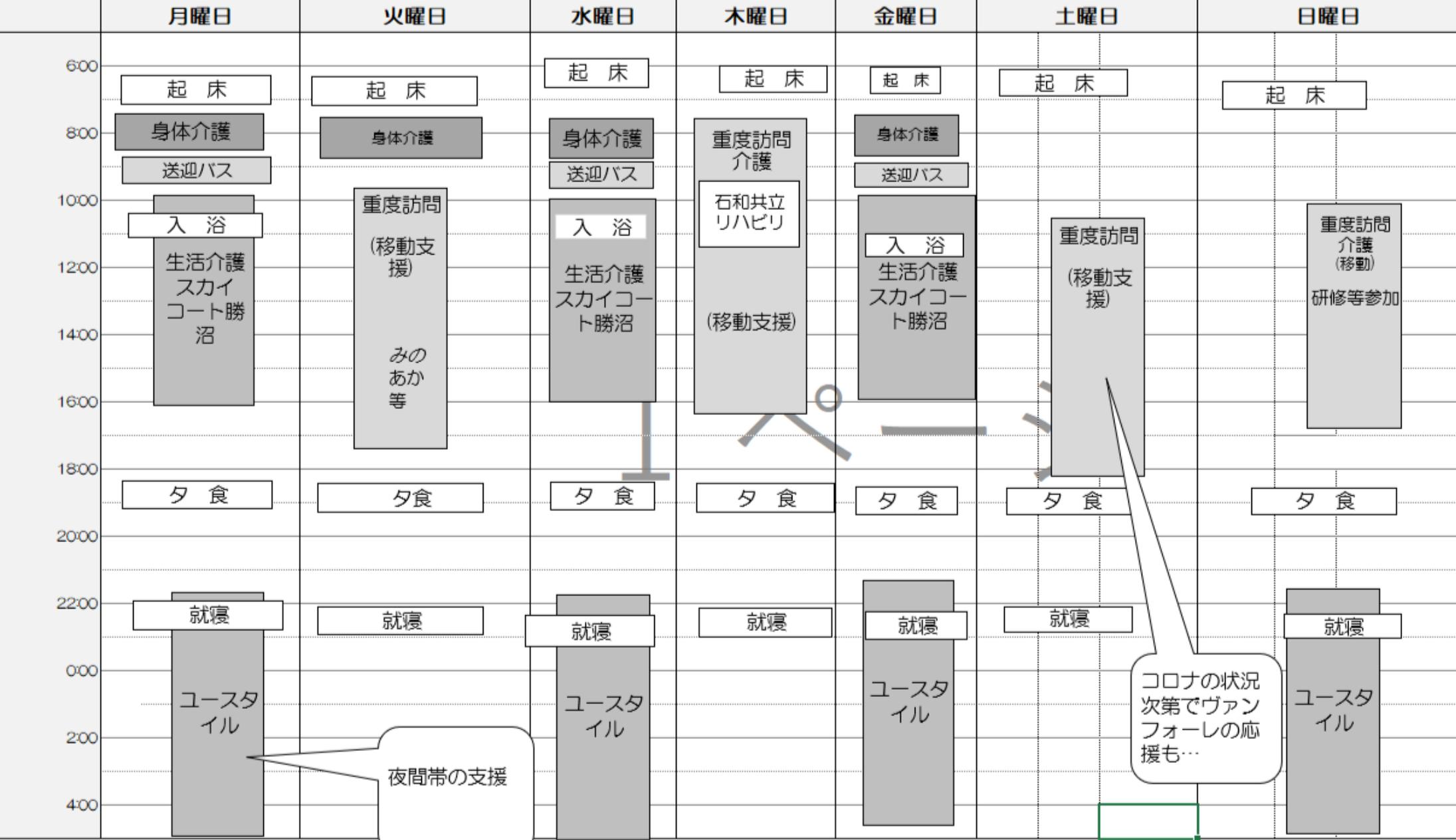
写真撮影 YouTube制作

好きな食べ物 寿司

好きなアニメ 名探偵コナン

よく聴く音楽 B'z

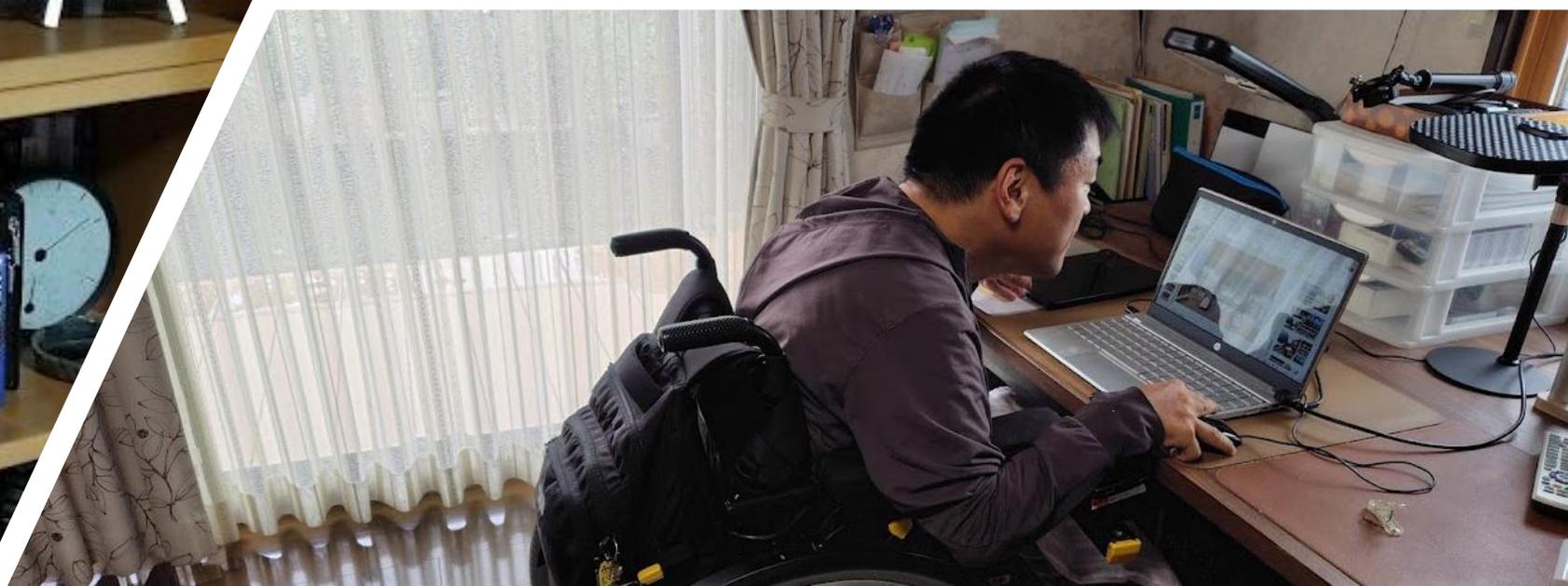




主な日常生活上の活動	
【自立支援給付費】	
生活介護	
15日/月	スカイコート勝沼
身体介護	
1hx18回(月火水金)	
18時間/月	
短期入所	
4日間/月	スカイコート勝沼
重度訪問介護	
240時間/月(移動6)	
ハロハロ二番館	
10hx8回=80h	
ユースタイル	
8hx20回=160	
【地域生活支援事業】	
移動支援事業	
移送・ガイドヘルプ	
240時間/年	
ハロハロ	
日中一時支援事業	
緊急時・日曜日等	
240時間/年	

夜間帯の支援

コロナの状況次第でヴァンフォーレの応援も...





YBI ヤスタカのバリアフリー研究所

@ybi0213 · チャンネル登録者数 219人 · 157 本の動画

ヴァンフォーレ甲府とB'zが大好きな重度身体障がい者です。...さらに表示

minoaka2009.g3.xrea.com、他 4 件のリンク

🔔 登録済み ▼

ホーム 動画 ショート 再生リスト 🔍

おすすめ



地域生活での不満ごと

- ・ 車社会の山梨で移動手段の確保が難しい
- ・ 急な予定に対応してもらえない
- ・ 施設職員とゆっくり話す時間がない

支援者にのぞむこと

- ・ 当事者もっと向き合ってほしい
- ・ 障がいに合った支援を！